

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公表番号】特表2005-511833(P2005-511833A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-551180(P2003-551180)

【国際特許分類】

C 08 F 32/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 32/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年6月29日(2009.6.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

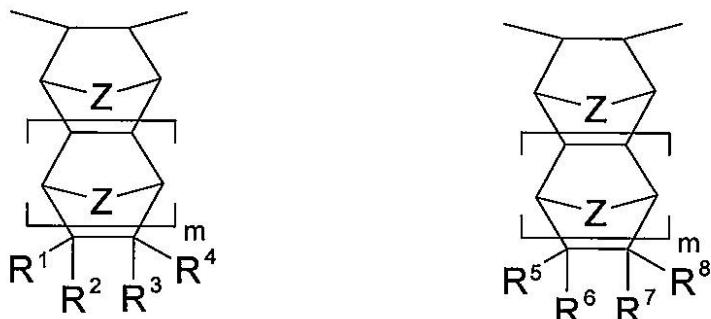
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水素化末端基を主鎖の一方または両方の末端に有する多環式付加重合体であって、下記式

【化1】



[式中、R<sup>1</sup>～R<sup>4</sup>は、独立して、水素、直鎖または分岐鎖(C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>)アルキル、直鎖または分岐鎖(C<sub>1</sub>～C<sub>24</sub>)ハロヒドロカルビル、直鎖または分岐鎖(C<sub>2</sub>～C<sub>30</sub>)オレフィン、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(O)OR<sup>\*</sup>、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(O)OR、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-OR、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-OC(O)R、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(O)R、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-OOC(O)OR、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(R)<sub>2</sub>-CH(R)(C(O)OR<sup>\*\*</sup>)、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-(CR<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-CH(R)(C(O)OR<sup>\*\*</sup>)、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(OR<sup>\*\*\*</sup>)-(CF<sub>3</sub>)<sub>2</sub>、-(CR<sup>'2</sup>)<sub>n</sub>-O-R、または-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(R)<sub>2</sub>-CH(C(O)OR<sup>\*\*</sup>)<sub>2</sub>を表し；ここでRは水素、直鎖または分岐鎖(C<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>)アルキル、または-(CH<sub>2</sub>)<sub>s</sub>-OHを表し；R'は水素またはハロゲンを表し；R<sup>\*</sup>は酸不安定部分を表し；R<sup>\*\*</sup>は独立してRまたはR<sup>\*</sup>を表し；R<sup>\*\*\*</sup>は-CH<sub>2</sub>OR、-C(O)ORまたは-C(O)Rを表し；nは0～10の整数であり；mは0～5の整数であり；sは1～10の整数であり；Zは酸素、硫黄、-NR<sup>"</sup>または-(CR<sup>"2</sup>)<sub>p</sub>-を表し、ここでR<sup>"</sup>は水素であり、pは1または2であり、

R<sup>5</sup>～R<sup>8</sup>は、独立して、水素、直鎖または分岐鎖(C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>)アルキル、直鎖または分岐鎖(C<sub>2</sub>～C<sub>30</sub>)オレフィン、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(O)OR<sup>\*</sup>、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(O)OR、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-OR、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-OR、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-OC(O)R、-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-C(O)R

、 $-\left(\text{CH}_2\right)_n-\text{OC(O)OR}$ 、 $-\left(\text{CH}_2\right)_n-\text{C(R)}_2-\text{CH(R)(C(O)OR}^{**})$ 、 $-\left(\text{CR}'_2\right)_n-\text{O-R}$ 、または $-\left(\text{CH}_2\right)_n-\text{C(R)}_2-\text{CH(C(O)OR}^{**})_2$ を表し；ここでRは水素または直鎖または分岐鎖( $\text{C}_1 \sim \text{C}_{10}$ )アルキルを表し；R'は水素またはハロゲンを表し；R\*は酸不安定部分を表し；R\*\*は独立してRまたはR\*を表し；nは0～10の整数であり；mは0～5の整数であり；Zは酸素、硫黄、-NR"-または $-\left(\text{CR}''_2\right)_p-$ を表し、ここでR"は水素であり、pは1または2である】

によって表される繰返し単位のうちの1種以上から選択される繰返し単位を含んでなる、前記重合体。

【請求項2】

Zがメチレンである、請求項1に記載の重合体。

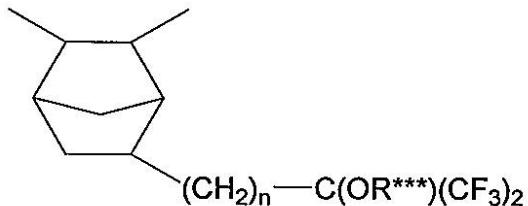
【請求項3】

前記ハロヒドロカルビル基が、X"が独立してフッ素、塩素、臭素およびヨウ素から選択され、そしてrが1～20の整数である式 $\text{C}_r\text{X}''_{2r+1}$ によって表される、請求項1または2に記載の重合体。

【請求項4】

前記繰返し単位が、下記式

【化2】



[式中、nは0～10の整数であり、そしてR\*\*\*は請求項1に定義されたとおりである】

によって表される、請求項1に記載の重合体。

【請求項5】

酸不安定ペンダント基を有する多環式繰返し単位を含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の重合体。

【請求項6】

$\text{R}^1 \sim \text{R}^8$ のうちの少なくとも1つが、式 $-\left(\text{CH}_2\right)_n-\text{C(O)OR}^*$ によって表される基から選択され、そしてR\*は請求項1に定義されたとおりである、請求項1～5のいずれか1項に記載の重合体。

【請求項7】

不飽和末端基を有する重合体と、水素化剤を反応させることを含む、請求項1～6のいずれか1項に記載の重合体の製造方法。